

JISA 主催

デジタルビジネス人材のためのビジネスアナリシス研修コース：実践コース 開催

平成 29 年 7 月 25 日(火)、26 日(水)の 2 日間にわたり、JISA 会議室において、「デジタルビジネス人材のためのビジネスアナリシス研修コース：実践コース」を開催した。受講者は 12 名。講師は大塚 有希子 氏 (IIBA 日本支部 教育委員、慶應義塾大学院 SDM 研究科非常勤講師)。

本研修コースは【基礎コース】と【実践コース】の 2 本立てとなっている。今回の実践コースは、研修プログラムの大半をグループワーク演習に充てており、顧客要求からシステム化までの流れの具体的な作業について、受講者が研修で学んだ理論や手法をすぐに実践し、それらの効果をお場で体感できる内容だった。



実践コースのプログラムでは、(1)ビジネスアナリシスを位置づける、(2)要求とは何か～現状分析～、(3)ビジョン、スコープ、品質の確立～根本原因分析～、(4)ステークホルダー分析とユーザープロファイル～顧客価値～、(5)ビジネスレベルでソリューションのアプローチをモデル化する～ビジネスモデルの策定～、(6)要求分析作業計画の作成～ビジネスアナリシスのグローバル標準体系～、(7)要求の引き出し～対話による要求引き出し～、(8)技術文書の書き方～要求の品質特性～、(9)ビジネスプロセスをモデル化する～業務分析～、(10)ビジネスケース・ソリューションの選択と意思決定～ビジネスケース作成～ の 10 のトピックについて取り上げた。各トピックの中で、上手なブレインストーミングのやり方(基礎コースの復習)、要求の引き出し・分類・分析、ステークホルダー分析、ビジネスプロセスのモデル化、ロールプレイングによるヒアリング練習など、すぐに持ち帰って業務で実践できる演習を多数行った。

受講者からは、「体系的な知識を身に付けられて勉強になった」、「(ロールプレイングによるヒアリング練習では、) 普段準備をして臨むヒアリングとまったく違い苦戦したが、人に合わせたヒアリング方法を学ぶことができた」、「(要求分析について) 演習課題に取り組む中で、どんどん広がりが出て要求を深堀することができた。ディスカッションの大切さを実感した」などの声が寄せられた。演習中心の本研修が非常に実践的で、受講者にとって良い体験となった様子だった。



(上遠野)